

## 会社情報・株主メモ (2023年3月31日現在)

### 会社の概況

商号 株式会社ミマキエンジニアリング  
設立 1975年8月  
資本金 43億5,746万円  
事業内容 コンピュータ周辺機器及び  
ソフトウェアの開発・製造・販売  
従業員 連結2,044名/単体829名

### 役員一覧 (2023年6月23日現在)

代表取締役社長	池田 和明
専務取締役	竹内 和行
常務取締役	清水 浩司
取締役	羽野 康博
取締役	牧野 成昭
取締役	古平 武史
取締役	森澤 修二郎
社外取締役(常勤監査等委員)	善野 洋
取締役(監査等委員)	田中 規幸
社外取締役(監査等委員)	田中 誠
社外取締役(監査等委員)	荒井 寿光
社外取締役(監査等委員)	蓑毛 誠子
社外取締役	沼田 俊介

### 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

### 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	当社ホームページ( <a href="https://ir.mimaki.com/">https://ir.mimaki.com/</a> )に掲載いたします。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	6638

#### (ご注意)

- 株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

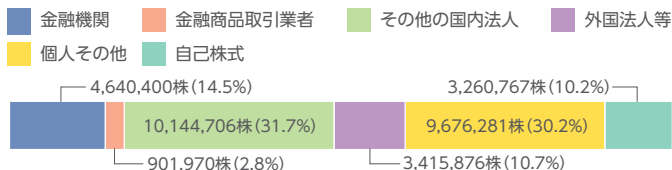
### 株式の状況

発行可能株式総数 128,160,000株  
発行済株式の総数 32,040,000株  
株主数 5,053名

### 大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社池田ホールディングス	5,064,000	17.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,801,200	9.73
有限会社田中企画	2,230,000	7.75
田中 規幸	2,035,000	7.07
東京中小企業投資育成株式会社	1,529,000	5.31
ミマキエンジニアリング従業員持株会	1,178,500	4.09
株式会社八十二銀行	840,000	2.92
アデキパートナーズ株式会社	833,200	2.90
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	642,500	2.23
株式会社日本カストディ銀行	638,600	2.22

### 所有者別状況



### ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報やプレスリリースなどの最新の情報に加え、当社の事業概要、製品、サービスをより深くご理解いただくためのコンテンツをご覧いただけます。ぜひアクセスしてください。



携帯電話やスマートフォンをお使いの方は右のQRコードからもアクセスできます。

アクセスはこちら

<https://ir.mimaki.com/>

公式SNSはこちら

Facebook <https://www.facebook.com/mimakiengineering/>  
YouTube <https://www.youtube.com/user/MimakiPR/videos>  
Instagram [https://www.instagram.com/mimaki\\_japan/](https://www.instagram.com/mimaki_japan/)

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

# BUSINESS REPORT 2023.3

2022.4.1-2023.3.31

2023年3月期  
第48期報告書

## NEW PRODUCT



# TXF150-75

新製品情報はP.9をご覧ください

**Mimaki**<sup>®</sup>  
株式会社 ミマキエンジニアリング



#### 【株主総会資料の電子提供制度への対応について】

- 会社法改正により、今期から株主総会資料は事前の通知書面でご案内するウェブサイトでご確認いただくこと(電子提供措置事項)が原則となり、株主総会の基準日までに「書面交付請求」をいただいた株主様に限り、電子提供措置事項を書面でお送りすることとなりました。
- 当社では、株主様の混乱を避けるために、今期開催した株主総会では、書面交付請求の有無にかかわらず全ての株主様に電子提供措置事項を記載した書面をお送りしましたが、次回定時株主総会からは、電子提供制度に即した通知書面をお送りする予定ですので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

私たちは、独自のラスタ技術(インクジェット等)とベクター技術(カッティング等)を柱とした市場志向の製品開発により、デジタル・オンデマンド生産のマーケットリーダーを目指しています

経営ビジョン

- 1 独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「開発型企業」を目指します。
- 2 顧客に満足いただける製品を素早く提供する小回りの利いた会社を目指します。
- 3 市場に常に「新しさの違い」を提供するイノベーターを目指します。
- 4 各人が持っている個性・能力を一杯発揮できる企業風土を目指します。

ミマキが目指す組織と企業像

イノベーターの集団であり続けるために、そして各人が持っている個性、能力を一杯発揮し、マーケットの潜在ニーズを素早く捉え解決するために、当社では技術・営業・生産・管理・経営企画の5本体制のもと、小集団によるグループ別独立採算制を追求するGIPS経営を行っています。

GIPS (Group Independent Profitability management System) では、各グループが明確な役割と責任を持ち、それぞれがあたかも町工場であるかのように自主的に活動します。

そして各グループの活動成果としての付加価値を明確にし、各グループにおいてリーダーを中心に自部門の採算向上を実現するため、各グループのメンバー全員が問題点を共有し、その解決にあたります。これらを通し社員全員が経営に参加し、一人ひとりが採算意識を持ち、信頼をベースにした葡萄の房のような小さな果実の集合体にしていきたいと考えています。

代表取締役社長 池田 和明



## トータルソリューションの提供により、 導入から成果物の品質までサポート

当社グループは、産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、インク等の開発・製造・販売・保守サービスを一貫して行う開発型企业です。独自のコア技術を駆使し、デジタルトランスフォーメーションのさらなる進展を推し進め、導入から成果物の品質までをサポートするソリューションプロバイダーとしての役割を担ってまいります。

### ソリューションプロバイダー

前工程・プリント/カット/コート・後工程の一貫システムによるトータルソリューションを提供



### 社会・顧客ニーズ

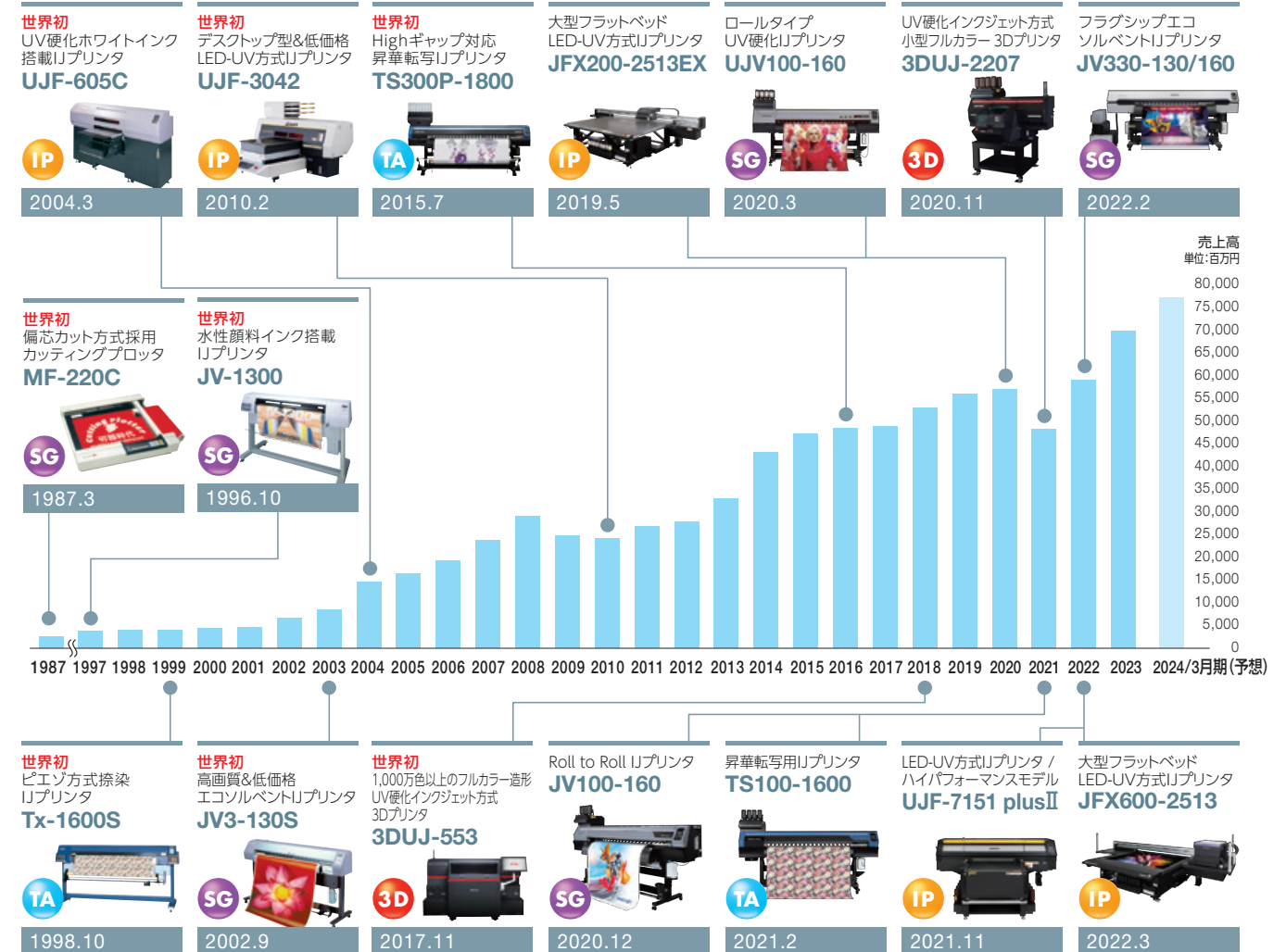
- 1 少量多品種生産
- 2 生產品の高付加価値化
- 3 ランニングコスト低減
- 4 リードタイム短縮
- 5 在庫レス
- 6 環境経営
- 7 無人化・省人化
- 8 eコマース環境構築(小売業)



## Mimakiのコア技術

## Mimakiの歩みはイノベーションの歴史

デジタル・オンデマンド生産のマーケットリーダーとして、多様なニーズを迅速かつ的確に捉え、そこに狙いを絞った製品を素早く提供することで、今後も新たな市場と顧客を創出してまいります。



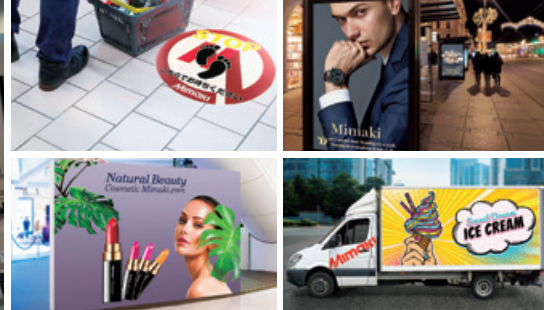
## 3つの販売市場に向けた製品提供とFA事業の展開

各市場のプレーヤーにとって最適な製品を常に提供し、各市場の拡大を推進。

SG

サイン  
グラフィックス  
Sign Graphics

大型ポスター、カーラッピング、のぼり旗、表示板といった広告・看板等、街を彩るビジネスシーンで活躍している当社の主力製品群。



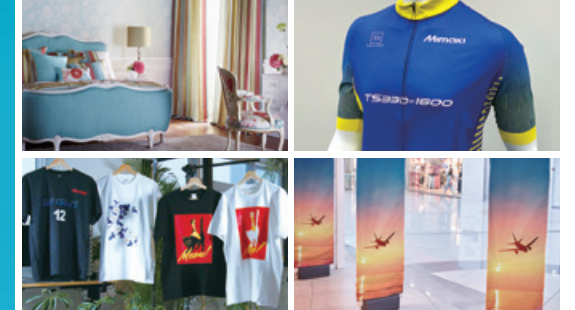
主なプリント素材

- ・塩ビシート
- ・バナーシート
- ・ウィンドウフィルムなど

TA

テキスタイル・  
アパレル  
Textile & Apparel

裁断・縫製加工前の生地や既製服などファストファッション・スポーツウェア業界のほか、ファニチャー業界で拡大している製品群。



主なプリント素材

- ・ポリエステル
- ・レーヨン
- ・綿
- ・絹
- ・合成皮革など

IP

インダストリアル  
プロダクツ  
Industrial Products

自動車の計器パネルや家電類の操作パネル等の工業製品のほか、一般消費者向けのギフトやノベルティ、オーダーグッズ等の生産現場等で使用されている製品群。



主なプリント素材

- ・プラスチック
- ・アクリル
- ・ガラス
- ・金属
- ・木材など

3D

3Dプリンタ  
3D Printer

1,000万色以上のフルカラー造形から、高さ1.8mまでの超大型造形まで3Dプリンタによりプロダクトデザインやフィギュア、立体看板で活用されている製品群。



FA

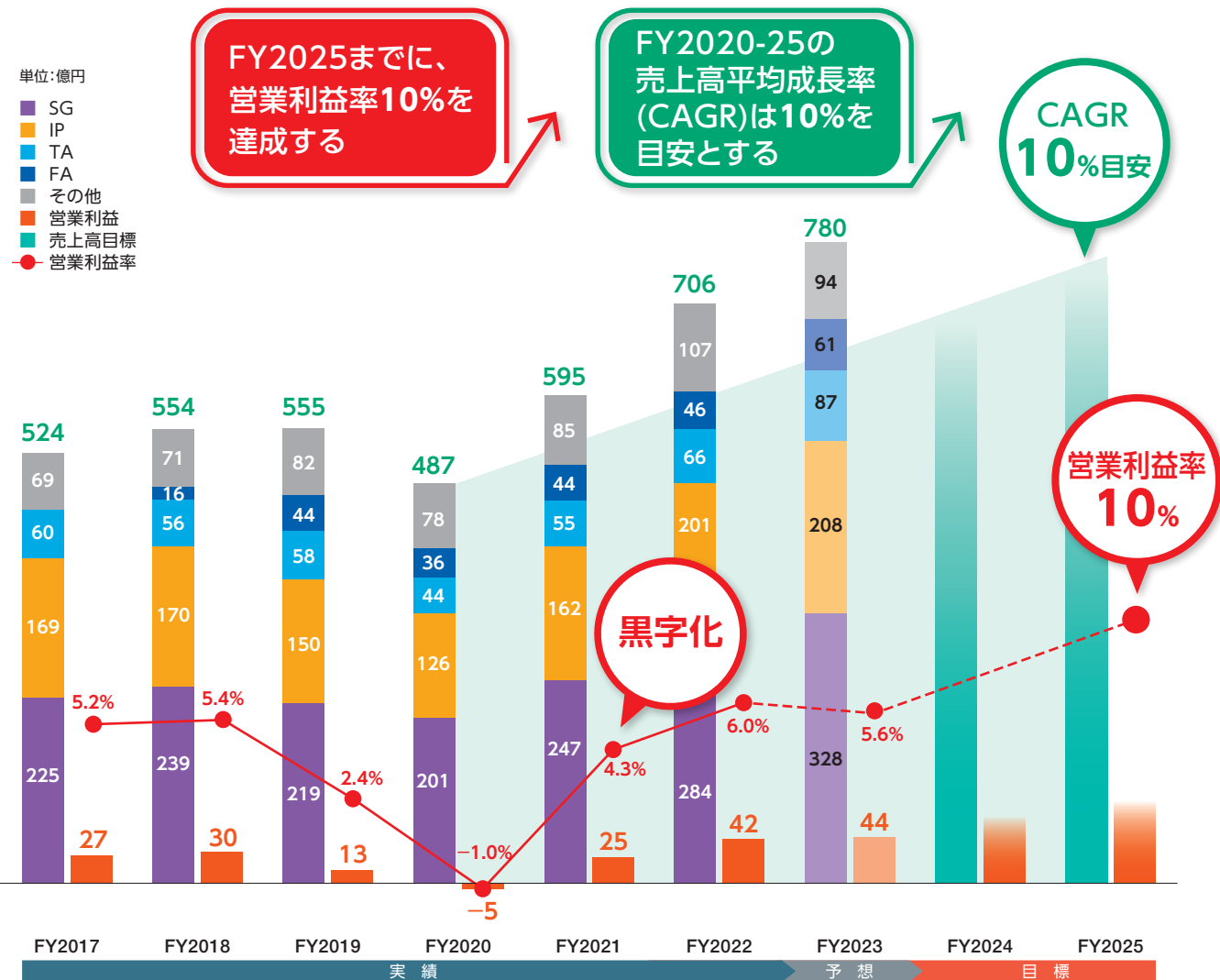
ファクトリー  
オートメーション  
Factory Automation

ベクター技術、メカトロニクス技術をもとに5つの事業を展開。オンデマンド型のデジタルコーティングマシンで印刷からコーティングまで生産工程の全自動化にも対応。



# 中長期成長戦略 Mimaki V10

当社は中長期成長戦略「Mimaki V10」で定めた目標：2025年度までに営業利益率10%の達成に向けた施策を着実に実行し、業績のV字回復を確実なものいたします。



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。ここに、第48期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の事業の状況について、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 池田和明

## 2023年3月期の業績について

2023年3月期(以下、当期)の連結業績は、売上高706億7百万円(前期比18.6%増)、営業利益42億41百万円(同65.1%増)と、大幅な増収増益となりました。

当期における世界経済は、部材調達難による製品供給不足やコスト上昇、エネルギーや食糧等の価格高騰に伴う歴史的なインフレの継続に加え、第3四半期後半からは欧米各国での急速な利上げや中国でのゼロコロナ政策に伴う混乱等の影響により、世界経済の成長減速が徐々に顕在化するなど、厳しい状況が続きました。わが国においては、徐々に経済の持ち直しが見られる一方、インフレの拡大や為替相場の急激な変動による先行き不透明感の増大から、予断を許さない状況が続きました。一方で、世界的に環境問題やデジタル化などのテーマに対する投資は増加しており、これらの分野でのビジネスチャンスが増える側面もあり、当社グループでは中長期成長戦略「Mimaki V10」で定めた収益性向上に向けた基盤構築を継続しつつ、新しい技術やサービスを開発/提供することで、競争力を高め持続的な成長を果たすべく取り組んでおります。

当期の売上高は、半導体を中心とした部材不足及び輸送リードタイム長期化や、ロシア・ウクライナ問題や中国のゼロコロナ政策に伴う販売面への影響等を受けましたが、当社製品への堅調な需要が継続しました。製品市場別には、新製品が好調であったIP(インダストリアルプロダクツ)市場向けに加えて、TA(テキスタイル・アパレル)市場向けでは新興国を中心に大幅に販売が増加、SG(サイングラフィックス)市場向けも主力製品を中心に堅調に推移し、FA(ファクトリーオートメーション)事業も堅調な結果となりました。品目別では、本体に加えてインク・保守部品も好調に推移しました。一方で、第3四半期後半から欧米を中心に経済成長減速の影響が徐々に顕在化したことから、第4四半期の売上高予想は下方に修正しましたが、通期では堅調な需要に加え為替の円安によるプラス効果もあり、大幅な増収となりました。利益面では、販売機会損失回避を優先した部材調達によるコスト増加や、エネルギーコスト高騰等の影響を受けたものの、コスト上昇に対応するための販売価格見直しを進めたこと等により、売上原価率が若干改善しました。また、事業・営業活動が活発化する中で人件費、研究開発費、販売促進費等を中心に販管費は増加しましたが、費用の効率的な執行に努め、販管費率が改善しました。これらに加え、為替の円安によるプラス効果もあり、営業利益は大幅な増益となりました。

## 2024年3月期通期の連結業績見通しについて

2024年3月期通期の連結業績予想は、売上高780億円(前期比10.5%増)、営業利益44億円(同3.7%増)を見込んでいます。

今期の世界経済は、前期比では減速が見込まれるものの、物価高や金融不安に伴う大幅な成長率の減速は回避される可能性が高まっており、また、世界的な部材不足は徐々に解消の方向にあります。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や米中対立など、地政学リスクの高まりにより世界経済の先行きは依然不透明であり、予断を許さない状況が継続するものと見込んでいます。

このような中、売上高につきましては、世界経済の減速影響を受ける見通し一方で、営業活動のさらなる強化による既存製品の販売拡大と、顧客のニーズを捉えた新製品の投入を進め、SG、IP、TAの各市場向け及びFA事業は、増収を見込んでいます。地域別では、前期にロシア・ウクライナ問題の影響を大きく受けた欧州で販売拡大を見込むとともに、中国の景気回復が進むアジア・オセアニア、底堅い需要が継続する北米を中心に、国内及びその他地域も含め、増収を見込んでいます。利益面では、前期に調達・生産した高コスト部材を使用した製品の販売が進むことから、売上原価率の悪化を見込むとともに、為替レートは前期比円高水準で推移する前提としました。一方で、増収による増益に加え、効率的な費用執行を進めることにより販管費率の改善を見込んでいます。以上の結果、営業利益は若干の増益を見込んでいます。

## 株主様へのメッセージ

当社グループでは、中長期成長戦略「Mimaki V10」に基づき、売上高を成長させながら2025年度までに営業利益率10%の達成に向け取り組んでおります。今期は、不透明な経営環境の下であっても、新しい価値を生み出し、革新的なアイデアや方法を取り入れて、より持続可能な未来を創り出すことを目指して、グループ経営方針を「創造する」と定め、全社をあげて取り組んでまいります。

なお、株主還元につきましては、今後の業績見通し及び安定的かつ継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、2024年3月期の年間配当は1株当たり20円(中間10円、期末10円)に増配とさせていただく予定であります。株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## ハイエンドフラットベッドカッティングプロッタ 「CFX シリーズ」

当社は1991年にフラットベッドカッティングプロッタ「CF-120」を発売して以来、エントリーモデル「CFL-605RT」、ミドルレンジモデル「CF2シリーズ」、「CF3シリーズ」とラインナップを増やし、市場で高い評価を得ております。この度、最大速度100cm/s(当社従来機比2倍)、最大圧力30kg(当社従来機比6倍)のハイエンドモデルとして「CFXシリーズ」をラインナップいたします。

### ▶ 2種類のユニット(タンジェンシャル[方向制御]ユニット、ルーター[回転制御]ユニット)が3つ同時に装着できるマルチヘッド

標準搭載のペンユニットに加え、タンジェンシャルユニット、ルーターユニットから最大3ユニットを同時に装着可能のため、複数のツールを同時に使え、さまざまな形状の加工を一つの作業で行うことが可能です。

### ▶ 2種類のツール制御

1. Z位置制御モード: 押切り、振動カット、Vカット、ルーターご使用時に指定したZ軸位置を制御。最大圧力は30kgまで対応します。
2. 圧力可変モード: 罫引きローラーご使用時に低圧から高圧までの圧力調整が可能になり、罫引きの場合、段ボール加工を想定し加工方向により罫割れしないよう圧力制御できるようにしています。

Adobe IllustratorのプラグインソフトFinecutを標準添付。Adobe Illustratorをご使用であれば、さまざまな機能に最適なカット条件で出力可能なソフトを標準添付しております。

### ▶ 用途に合わせた多彩なツール

タンジェンシャルユニットには押切り1種類、レシプロ(振動カット)2種類、Vカットが2種類、罫引きローラーが3種類の計8種類のツールを用意。ルーターユニットには素材と仕上がり形状に合わせてツールを計9種類用意しております。お客様の用途に合わせて加工に最適なツールをご選定いただけます。

### ▶ テーブルサイズは3種類用意

カット可能範囲(幅×奥行) 2,540mm x 1,300mm、2,540mm x 3,190mm、2,540mm x 5,080mmの3種類のテーブルサイズから選定でき、お客様のニーズの変更に合わせ、導入後に拡張が可能です。(最大サイズは2,540mm x 5,080mm。導入後の拡張の場合は別途費用が掛かります)

# CFX Series

製品の詳細はこちらをご覧ください ▶▶▶



## Mimakiの技術を詰め込んだ「安心安定」のDTFプリンタ 「TxF150-75」

「TxF150-75」は、DTF (Direct To Film) プリントの転写シート作成に用いる、最大印刷幅80cmの当社初のDTFプリンタです。CMYK及び白の5色で構成されたDTF専用の熱転写顔料インク「PHT50」は、繊維の安全性に関する国際規格「OEKO-TEX®(エコテックス)」の取得に必須のECO PASSPORT認証を取得しています。

これまでのDTFプリンタは、「インク吐出不良」や「白インクの詰まり」が課題となっていました。当社はプリンタのインク包装形態にアルミパックを採用する脱気インク設計を採用するとともに、白インク循環機能MCT※1を搭載することでこれらの課題を改善しています。また、安定稼働をサポートするMimakiの技術NCU※2とNRS※3を搭載。仕事を止めずに継続して出力し、お客様のお仕事をサポートします。

※1 Mimaki Circulation Technology: 白インク循環機能

※2 Nozzle Check Unit: ノズル抜け検出機能

※3 Nozzle Recovery System: ノズル抜けを他のノズルで補う機能

### ▶ アルミパック設計のエコカートリッジインク

脱気済みアルミパックインク方式を採用。インクへの気体混入を抑え、白インクを含むすべてのインクのノズル詰まりを低減し、安定したインク吐出を実現しています。インクボトル方式と比べ、プラスチック使用量を削減できるため、環境負荷の低減にもつながります。



### ▶ 安定したプリントを可能にする白インク循環システム「MCT (Mimaki Circulation Technology)」

ダンパ\*内のインクを含めたインク経路全体を循環させることでホワイトインクの吐出が安定し、頻繁なノズルクリーニングによる無駄なインク廃棄を減少します。

※ヘッド上部のフィルタ

# TxF150-75

製品の詳細はこちらをご覧ください ▶▶▶



Mimaki JPデモセンター移転

旧JPデモセンターでは、床荷重と搬入口の制限のため充実したプロダクションモデルのラインナップの展示ができず、お客様へご提案するソリューション毎に見学場所を東京支社ショールームへ移動する時間が必要でした。2月25日よりJPデモセンター移転のため一時閉鎖とさせていただきますが、この度、「ミマキのソリューションその全てが東京・大崎に」をコンセプトに、JPデモセンターを当社の東京支社ショールーム（品川区北品川）より徒歩2分の場所に移転し、4月19日より営業を開始いたしました。これまで以上にお客様の移動のご負担無く当社の製品のフルラインナップのご紹介を行ってまいります。



SG 紙製インクカートリッジの販売を開始

サステナビリティ対応の一環として、現在プラスチックを主な素材として使用しているインクカートリッジを紙製カートリッジとして販売開始いたしました。カートリッジの素材を現行のプラスチックから紙（段ボール）に置き換えることで、当社独自の自社基準「脱プラ推進プラスチック削減率」68%を達成いたしました。



FA 入退室管理システム 発表

当社のグループ会社で、電気電子部品などの製造装置を研究・開発・販売するアルファデザイン株式会社は、施設のセキュリティ導入と入退室管理ができるシステムパッケージ「入退室管理システム SIX」を発表いたしました。「入退室管理システム SIX」は、利用者の動向を管理することで従業員の残業時間を見える化でき、残業の偏りを解消するなど業務の平滑化推進に寄与します。また、施設の利用可能者数を事前に設定することで、喫煙室や休憩室などWithコロナの職場環境における密回避、施設やイベントなどの入場制限にもご活用いただけます。



SG&IP 「JAPAN SHOP」出展

2023年2月28日（火）～3月3日（金）の日程で、東京ビッグサイトに開催された【JAPAN SHOP 2023】に出展いたしました。当社ブースでは、【店舗装飾の付加価値と省人化】をテーマに、壁紙、ポスター制作におけるX軸Y軸枚葉カットで省人・省作業化をご提案、最新大型UVフラットベッドプリンタと後加工機による什器製作のワークフローをご紹介いたしました。



当社は、2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)で定めた17の目標のうち、インクジェット技術で7つの項目に貢献してまいります



▶ 当社グループは、サステナビリティ対応の一環として、資源循環型の経営・技術に鋭意取り組んでいます

これまで独自のインクジェット技術で、社会・環境ニーズに貢献するデジタル・オンデマンドプリント事業の拡大を推進してまいりました。今後も、デジタルトランスフォーメーション(バリューチェーンを含めた新たな付加価値につながるデジタル化)を的確に捕捉し、さらに深化すると思われる無人化・省人化、高速化・高品質化、無水捺染等の高度な付加価値につながる社会・環境ニーズにいち早く対応できるよう取り組んでまいります。

▶ デジタル・オンデマンドプリントの推進で、持続可能な社会の実現へ

当社は、独自のラスタ技術とベクター技術を駆使して、デジタル・オンデマンドプリントのさらなる進展を推し進めてまいります。

**6 節水**  
染色による淡水汚染をインクジェットプリントで解消、昇華転写プリントで節水を可能に

**7 物流フローの削減**  
デジタル・オンデマンドプリントで物流フローを短縮

**11 在庫ロスの減少**  
インクジェットプリントでロスを最小限に

**9 生産設備の効率化**  
インクジェットプリントで環境に配慮した設備作りを可能に

**12 環境に優しいインクの開発・製造**  
環境に優しく、オペレーターの健康負荷の軽減にも配慮したエコロジーインクを開発

**16 環境へ配慮したインクカートリッジ**  
使用済みインクカートリッジ類の無償回収・再利用、エコインクカートリッジの採用

長野県SDGs推進企業に登録

当社は、資源保護や資源循環型経済の実現に向けて取り組みを行っております。その一環としてこの度、「長野県SDGs推進企業」制度に申請し、第14期登録企業として登録されました。本制度は、長野県が「環境」、「社会」、「経済」の3側面を踏まえて企業による経営戦略としてのSDGs活用を支援するものです。

今後、本制度に基づきSDGs達成に貢献する当社の活動内容を定期的に長野県へ報告いたします。自社の活動を振り返り、具体的なアクションを進めることで社会・環境ニーズに応える企業経営を、より一層推し進めてまいります。



国内拠点

本社・牧家工場  
長野県東御市滋野乙2182番地3

加沢工場  
長野県東御市加沢1333番地3

長野開発センター  
長野県長野市北長池520番地1

東京開発センター  
東京都品川区  
北品川15丁目  
9番地41  
TKB御殿山ビル

八王子開発センター  
東京都八王子市  
北野町593番地6

JPデモセンター  
東京都品川区  
北品川15-5-25  
Sumビル 2・3階

営業拠点  
東京、大阪、札幌、仙台、長野、横浜、さいたま、西東京、北関東(宇都宮)、金沢、名古屋、京都、神戸、広島、四国(高松)、福岡

グループ  
子会社

● 子会社の主要な支店



Mimaki Lithuania, UAB  
〈リトアニア〉



MIMAKI EUROPE B.V.  
〈オランダ〉



Mimaki Deutschland GmbH  
〈ドイツ〉



阿尔法自动化技术  
(深圳)有限公司  
〈中国〉



大連阿尔法设计有限公司  
〈中国〉



上海御牧貿易有限公司  
〈中国〉



アルファーデザイン  
株式会社  
〈日本〉



株式会社  
アルファシステムズ  
〈日本〉



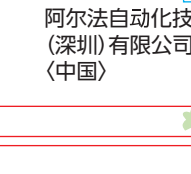
株式会社  
砥波製作所  
〈日本〉



株式会社  
ミマキプレジジョン  
〈日本〉



株式会社  
マイクロテック  
〈日本〉



阿尔法自动化技术  
(深圳)有限公司  
〈中国〉



御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司  
〈中国〉



株式会社  
楽日  
〈日本〉



株式会社  
グラフィック  
クリエーション  
〈日本〉



MIMAKI USA, INC.  
〈アメリカ〉



Mimaki Bompan  
Textile S.r.l.  
〈イタリア〉



台湾御牧股份有限公司  
〈台湾〉



Mimaki La  
Meccanica S.p.A.  
〈イタリア〉



MIMAKI EURASIA DIGITAL BASKI  
TEKNOLOJILERI PAZARLAMA  
VE TICARET LIMITED SIRKETI  
〈トルコ〉



MIMAKI (THAILAND)  
CO., LTD.  
〈タイ〉



MIMAKI AUSTRALIA  
PTY LTD  
〈オーストラリア〉



MIMAKI INDIA  
PRIVATE LIMITED  
〈インド〉



MIMAKI SINGAPORE  
PTE. LTD.  
〈シンガポール〉



PT. MIMAKI  
INDONESIA  
〈インドネシア〉



MIMAKI BRASIL  
COMERCIO E  
IMPORTACAO LTDA  
〈ブラジル〉

沿革

1975年 8月 (有)ミマキエンジニアリング設立  
1981年 5月 (株)ミマキエンジニアリングに改組  
1983年 12月 OEM向けA2フラットベッドペンプロッタ RY-1003開発開始  
1985年 2月 「北斎」の商標で、A2フラットベッドペンプロッタ販売開始  
1986年 3月 加沢工場操業開始  
1995年 7月 台湾御牧股份有限公司設立  
1999年 1月 ISO 9001認証(審査登録)  
9月 MIMAKI USA設立  
2003年 10月 長野開発センター開設

2004年 4月 (株)ミマキプレジジョン設立  
4月 MIMAKI EUROPE設立  
9月 長野県東御市に牧家工場取得  
2005年 4月 テクニカルコールセンター開設  
2006年 (株)グラフィッククリエーションを子会社化  
8月 本社を長野県東御市滋野乙に移転  
2007年 3月 ジャスダック証券取引所上場  
12月 御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司設立  
2008年 7月 Mimaki Deutschlandを子会社化  
2009年 1月 ISO14001認証(審査登録)  
6月 上海御牧貿易有限公司設立

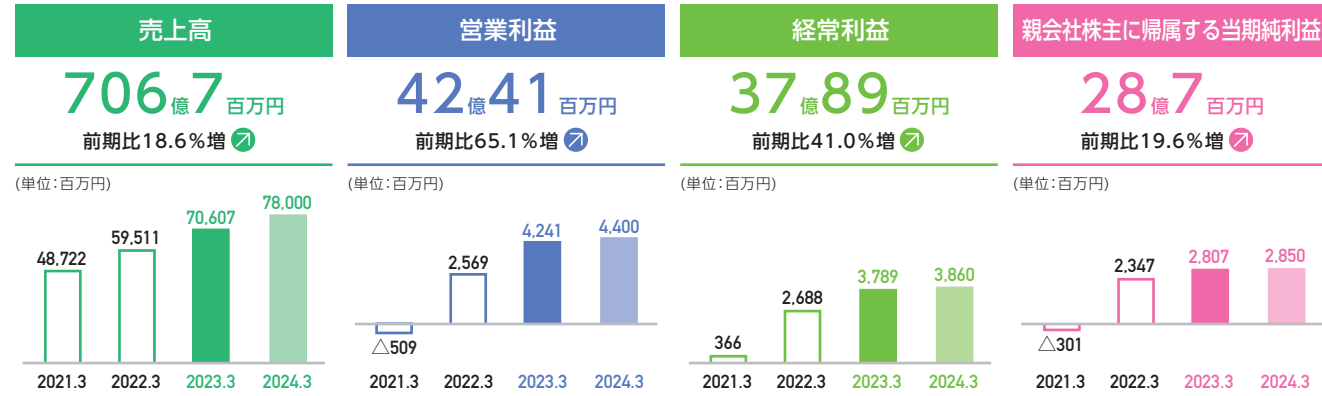
2010年 8月 平湖御牧貿易有限公司設立  
2011年 11月 MIMAKI INDONESIA設立  
2013年 4月 MIMAKI AUSTRALIA設立  
4月 MIMAKI SINGAPORE設立  
7月 MIMAKI INDIA設立  
2015年 3月 東京証券取引所市場第一部に市場変更  
5月 八王子開発センター開設  
7月 滋野ショールームオープン  
2016年 4月 MIMAKI EURASIA設立  
7月 JPデモセンター開設

7月 ラボセンター開設(TA・IP)  
8月  
10月 Mimaki La Meccanicaを子会社化  
2017年 2月 Mimaki Lithuania設立  
6月 Mimaki Bompan設立  
2018年 10月 アルファーデザイン(株)を子会社化  
11月 (株)楽日を子会社化  
2019年 3月 MIMAKI (THAILAND)設立  
2022年 3月 (株)マイクロテックを子会社化  
4月 東京証券取引所プライム市場に移行

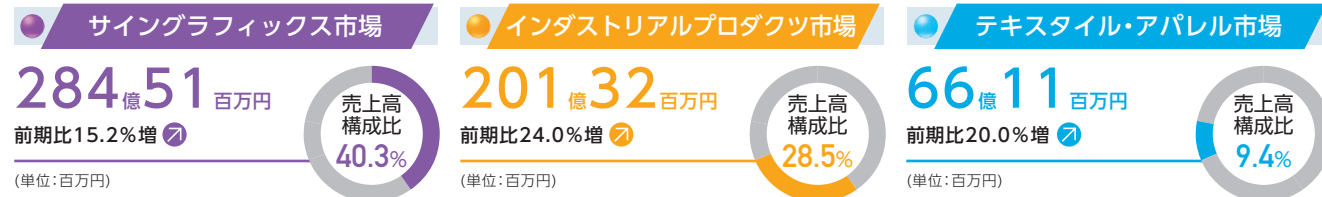




連結業績ハイライト



市場別状況

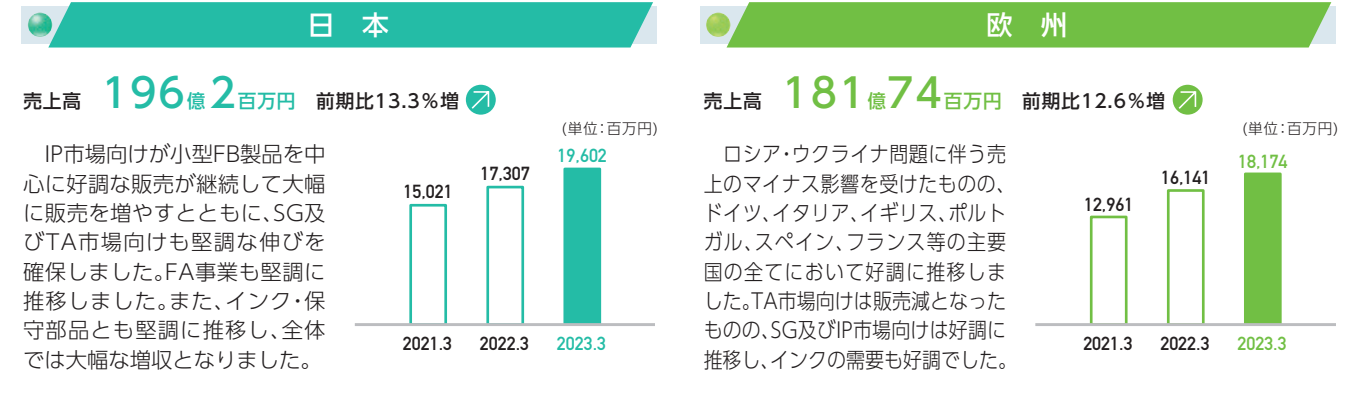


主力のミドルレンジモデルやエントリーモデルのJV/UJV100、新製品CG-ARシリーズを投入したカッティングプロッタが好調に推移し、同じく新製品であるフラグシップモデルJV/CJV330も販売増に貢献しました。またインクの販売も好調に推移しました。

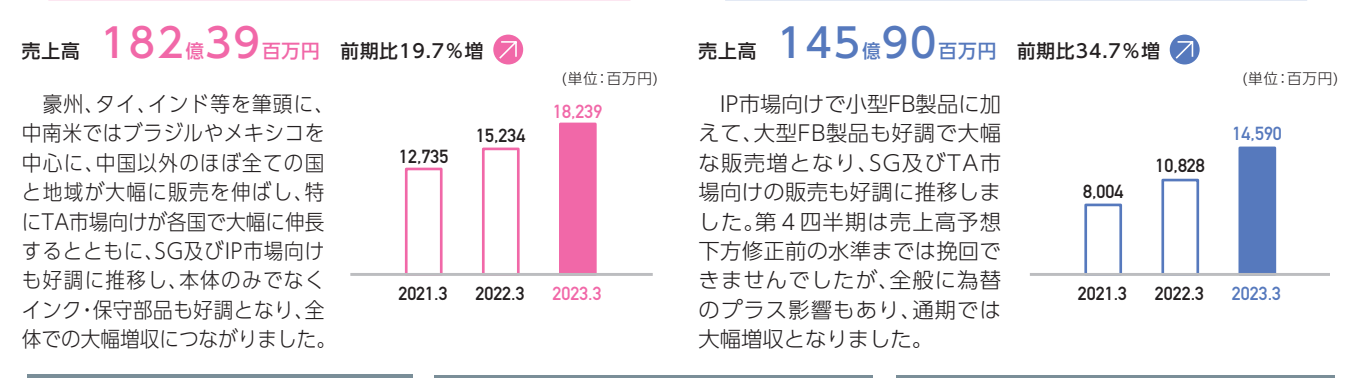
ラインナップを更新した主力の小型フラットベッド(以下、FB)製品の販売が大幅に伸び、大型FB製品も好調に販売を伸ばすとともに、本体に加えインク・保守部品の販売も好調に推移し、全体で大幅な販売増となりました。

エントリーモデルのTS100が中南米やアジアを中心に大幅に販売を伸ばすとともに、主力のミドルレンジモデルも好調に推移し、全体で大幅な販売増となりました。また、インクも顧客の稼働率上昇に伴い、大幅に販売が増加しました。

地域別状況



アジア・オセアニア、その他



2023年3月期実績 エリア別売上高構成比 品目別売上高構成比

